

歯内療法学

講師	松永常典	実施時期 単位数	第2学年前期 1単位（20時間）	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。				
授業概要	歯の硬組織疾患から続発して起こる歯髄疾患および根尖性歯周疾患を対象とし、その予防と治療を行うもので、各疾患の原因・分類を把握し、疾患と治療法を関連づけて理解させる。				
学習方法	パワーポイントによる講義				
成績評価の方法	定期試験、出席状況等の総合評価 定期試験80%、出席状況20%				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（監）歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」医歯薬出版				
履修上の注意	教科書を基に予習復習を行い、講義に臨むよう心がけてください。 わからないことがあったら、随時質問してください。				
参考書	古澤成博 他（編）歯科衛生士講座「保存修復学・歯内療法学」永末書店 歯科衛生士国家試験対策検討会（編）「歯科衛生士国家試験ポイントチェック3」医歯薬出版 須田英明 他（編）「エンドドンティクス21」永末書店				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)	歯科医師としての経験から、歯内療法の基本知識や治療の流れなどについて講義を行う。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	歯内療法の概要①	<ul style="list-style-type: none"> ・象牙質知覚過敏症の原因、症状と治療法を説明できる。 ・歯髄疾患の原因、症状と処置方針を説明できる。
2	歯内療法の概要②	<ul style="list-style-type: none"> ・根尖性歯周疾患の原因、症状と処置方針を説明できる。 ・歯内療法特有の検査法を説明できる。
3	歯髄温存療法	<ul style="list-style-type: none"> ・歯髄鎮痛消炎療法の概略と歯髄鎮痛消炎薬を説明できる。 ・覆髄法（直接、間接、暫間的間接）の概略と覆髄薬を説明できる。
4	歯髄除去療法	<ul style="list-style-type: none"> ・生活断髄法とその術式を説明できる。 ・麻酔抜髄法とその術式および使用器材を説明できる。
5	根管治療①	<ul style="list-style-type: none"> ・ラバーダム防湿に使用する器材とその術式を説明できる。 ・髄腔開拓に使用する器材とその術式を説明できる。 ・根管長測定の意義と測定法を説明できる。
6	根管治療②	<ul style="list-style-type: none"> ・根管の拡大形成、化学的清掃、仮封に使用する器材とその術式、特徴を説明できる。
7	根管充填	<ul style="list-style-type: none"> ・根管充填に使用する器材とその術式、特徴を説明できる。 ・根未完成歯の根管処置を説明できる。
8	外科的歯内療法	<ul style="list-style-type: none"> ・外科的歯内療法の種類、適応症とその術式を説明できる。
9	歯の外傷・歯内療法における安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の外傷の分類とその対処の流れを説明できる。 ・歯内療法における偶発事故とその予防、対処法を説明できる。
10	歯内療法における歯科衛生士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・歯内療法に使用する器材、薬剤の管理について説明できる。 ・歯内療法処置における患者への指導について説明できる。